

マイクロコンポーネントシステム

CDX-150

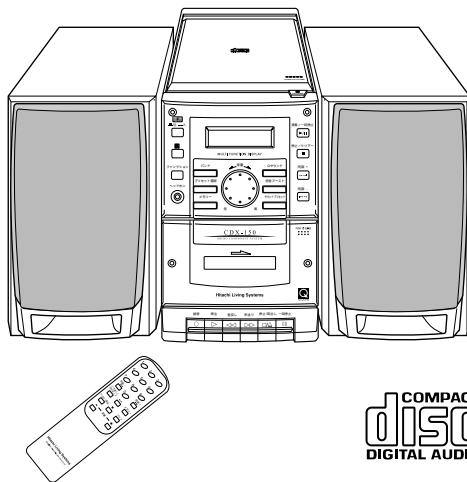
このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに保証書とともに大切に保管してください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

目次

はじめに	安全上のご注意	1	録音	録音する	19	
	各部のなまえ	6		参考	お手入れ	20
	リモコンについて	7			故障? その前にちょっとこれを	21
準備	接続	8	仕様		22	
	共通の操作	10	保証とアフターサービス	22		
聞きかた	CDを聞く	11	日立家電品についてのご相談や修理は お買い上げの販売店へ		裏表紙	
	テープを聞く	15				
	ラジオを聞く	17				

安全上のご注意

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。



⊘ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。



● の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

「安全上のご注意」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがあります。ご了承ください。



警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする(異常状態)
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。
- 本機の内部に水などが入った
- 異物が本機の内部に入った
- 音が出ないなど(故障状態)
- 落としたり、キャビネットを破損した



電源プラグを
コンセントから抜け





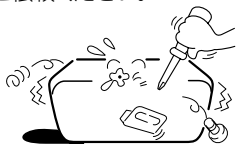
警告

■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



分解禁止



■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。



禁止

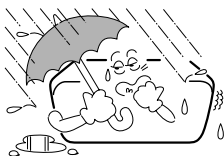


■ めらさない

- 本機をめらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。



水ぬれ禁止



■ 異物を入れない

通風孔、ディスクやカセット挿入口などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。(特に小さなお子さまにご注意ください。)火災、感電の原因となります。



禁止



■ 電源コードを傷つけない

無理な使いかたをするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。



禁止



電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 電源コード接続時の注意

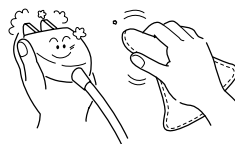
次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。



■ 差し込み部分は定期的に点検を

定期的に電源プラグを抜いて、プラグとコンセントの間に付着したほこり、よごれなどを取り除いてください。ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。



警告

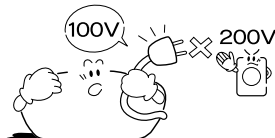
■ 壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10 cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10 cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。



■ 電源電圧100V以外で使用しない

表示された電源電圧(AC 100 V)以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



■ 通風孔をふさがない

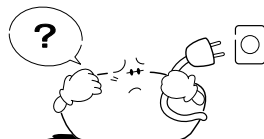
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部や底部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

- 本機をおお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけた、じゅうたん、布団の上に置く。



■ 国外では使用しない

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



■ 雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



⚠ 注意

■ 電源プラグを抜くときの注意



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意



禁止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ 不安定な場所に置かない



禁止

不安定な場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 持ち運びの注意



電源プラグをコンセントから抜く

ディスクを取り出してください。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしたことを確認のうえ、おこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ ディスクやカセット挿入口に手を入れない



指をはさまれないよう注意

けがの原因となることがあります。(特に小さなお子さまにご注意ください。)

■ レーザー光源をのぞき込まない



禁止

レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない



禁止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンの音量に注意



音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない



禁止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

⚠ 注意

■ 長期間使用しない場合やお手入れの際の注意



安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを
コンセント
から抜け

■ 内部の掃除について



内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 乾電池(リモコン用)使用上の注意



乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 単4形乾電池以外は使用しない。
- 極性(⊕と⊖)に注意し、表示通りに入れる。
- 種類の異なるものや、新旧の電池を混ぜて使わない。
- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。
- 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておく。



禁止



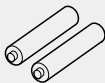
もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品

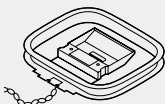
リモコン



単4形乾電池
(リモコン用)2本



AMループアンテナ



大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを確認してください。

著作権について

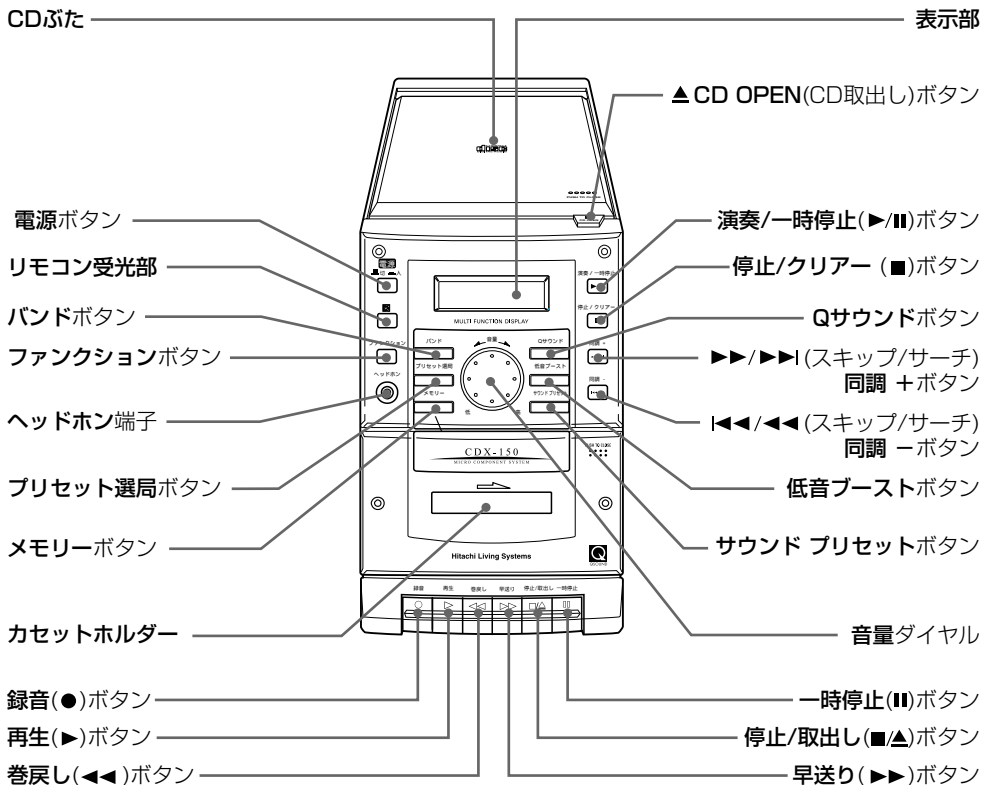
- 放送やCD、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなどの)音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)におたずねください。

(JASRAC 本部: TEL. 03-3481-2121)

各部のなまえ

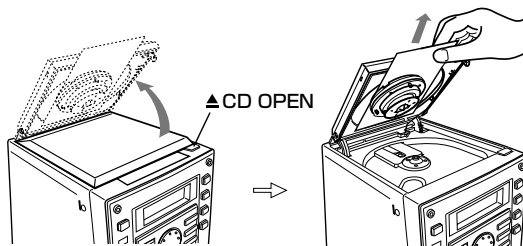
本取扱説明書では基本的に本体を中心に操作のしかたを説明しています

- リモコンの同様の名前のボタンでも操作のしかたは同じです。
- 表示例として使用しております表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。



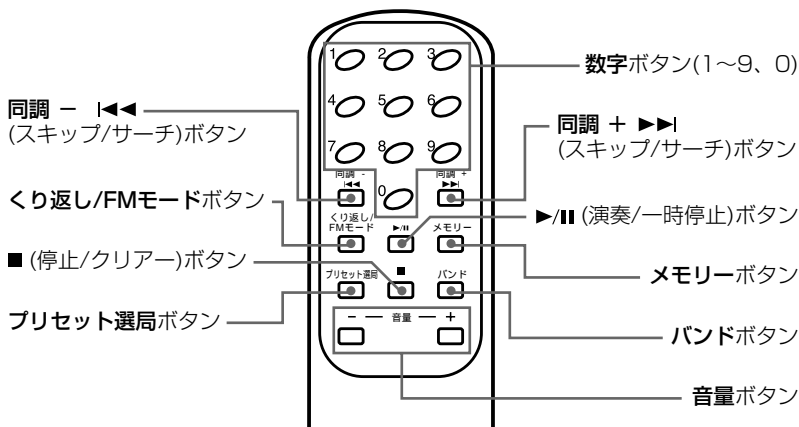
ご使用前のお願い

▲ CD OPEN ボタンを押してCDぶたを開け、中のクッションシートを取り出してください。



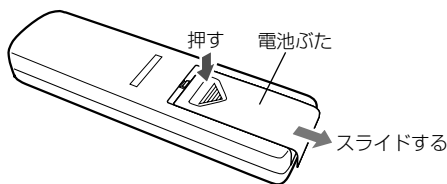
リモコンについて

各部のなまえ

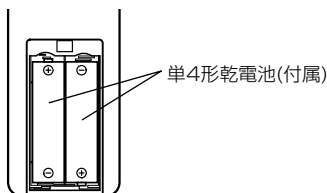


乾電池の入れかた

1 電池ぶたを開ける

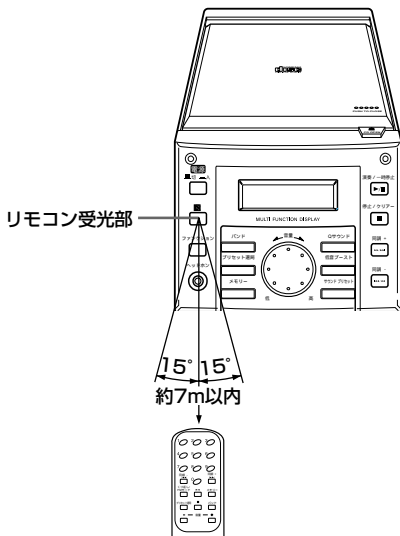


2 乾電池2本を正しく(極性⊕ ⊖)入れ、電池ぶたを閉める



リモコンの使える範囲

リモコン受光部から水平左右15度、直線距離約7mまでの範囲です。



- リモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンを操作しても動作しなくなりますので、2本とも新しい乾電池に交換してください。

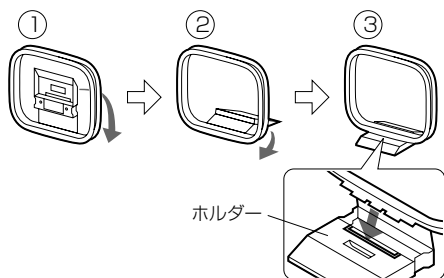


ちょっとこれを!

本体の電源ボタンで電源を入れてからリモコンを操作してください。

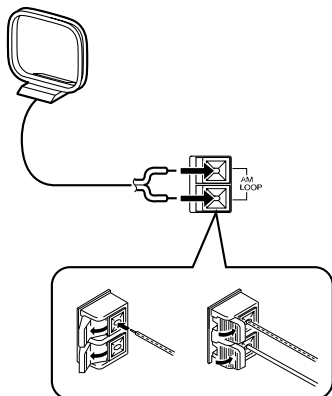
AMループアンテナ

図のように組み立てます。



アンテナのコードをAM LOOP端子に接続します。
アンテナを水平な場所に置き、最も受信状態の良い方向に向けてください。

端子への接続のしかた



レバーを倒してコードを差し込む。
差し込んだ後、レバーを起こす。

FMアンテナ

室内アンテナ(背面)

雑音が少なく最も受信状態の良い位置に固定してください。

注意

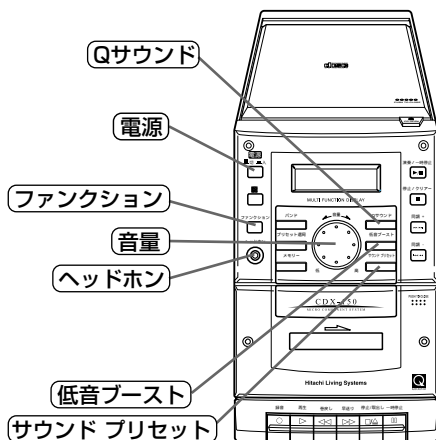
AMループアンテナやFMアンテナは電源コード、スピーカーコードやテレビ、パソコンなどから、できるだけ離してください。



ちょっとこれを!

本機とテレビを近づけて設置すると、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。また、近くに磁石など磁気が発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

共通の操作




電源を入れる／切るには

電源 ボタンを押す(入)

電源が入り、表示部が点灯します。

- 電源コードを接続し、開梱後最初に電源を入れたとき、音量はVOL 7 にセットされます。それ以降は、前回電源を切った時の音量レベルにセットされます。

もう一度 電源 ボタンを押すと電源が切れる( 切)

ファンクション(音源)の切り換え

ファンクション ボタンを押す

- ボタンを押すたびに次のようにファンクションが変わります。
CD → テープ → ラジオ → CD → ...

音量を調整する

音量 ダイアルを回す

- リモコンで操作するときは、+ または - 音量 ボタンを押します。

表示部に音量レベル(VOL 0 ~ VOL 24)が表示されます。

重低音を強調する

低音ブースト ボタンを押す

表示部に BASS が表示されます。

好みの音質で聞く

音楽のジャンルに合わせて、好みの音質で聞くことができます。

サウンド プリセット ボタンを押して、希望の音質を選ぶ

- POP: 低音域と高音域をやや強調します。
ポップスなど
- ROCK: 低音域と高音域をより強調します。
ロックミュージックなど
- JAZZ: 中音域を強調します。ジャズなど
- CLASSIC: フラット(直線)な特性になります。
クラシックなど

Qサウンド(3Dサラウンド)で聞く

Qサウンド ボタンを押す

より広がりのある音場感になります。

表示部に SURR が表示されます。

- お聞きになる音がモノラルの場合、Qサウンド効果はありません。

ヘッドホンで聞く

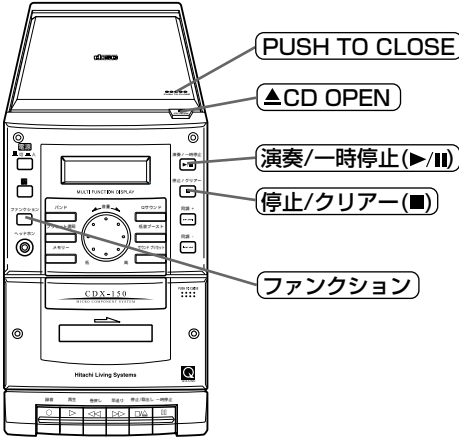
前面のヘッドホン端子に接続する。

ヘッドホン

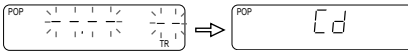


- ミニプラグ付のヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。

CDを聞く



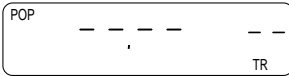
1 ファンクション ボタンを押して CD を選ぶ



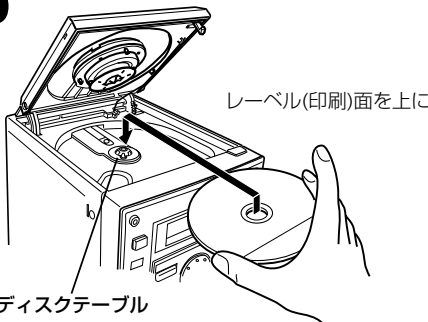
- 点滅約10秒後CD表示になります。

2 ▲ CD OPEN ボタンを押す

CDぶたが開きます。



3 CDを入れる

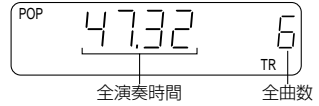


ディスクテーブル

- 一度に2枚以上のCDを入れることはできません。

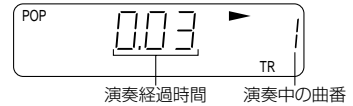
4 CDぶたを閉める

CDぶたの PUSH TO CLOSE 部を押して、カチッと音がするまで確実に閉めてください。



5 演奏/一時停止 (▶/||) ボタンを押す

曲番1から演奏が始まります。



- 最後の曲が終わると自動的に止まります。

止めるときは停止/クリアー (■) ボタンを押す

CDを取り出すには

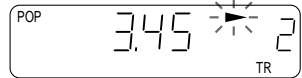
停止/クリアー (■) ボタンを押して、CDの回転が停止してから、▲ CD OPEN ボタンを押す。

注意

演奏中は、▲ CD OPEN ボタンを押さないでください。CDを傷つけることがあります。

演奏の一時停止

演奏中に、演奏/一時停止 (▶/||) ボタンを押す



- もう一度押すと再び演奏が始まります。

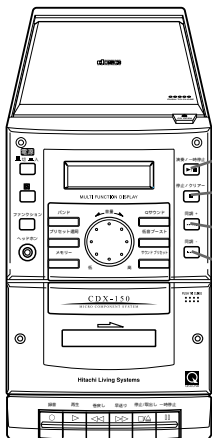


ちょっとこれを!



マークの入ったCDをご使用ください。

- CDが正しい位置のっていないと、CDに傷をつけたり故障の原因となります。
- CDの裏表を逆に入れると Cd を表示して演奏できません。



演奏/一時停止 (▶/||)

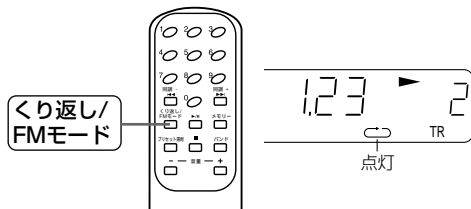
停止/クリア (■)

▶▶▶


◀◀◀

演奏をくり返す(リピート演奏)

リモコンのくり返し/FMモード ボタンを押す



CDの全曲またはプログラムした曲だけをくり返し演奏します。

- 演奏前にくり返しを選んだときは、**演奏/一時停止 (▶/||)** ボタンを押して演奏を始めます。
- 同じ曲をくり返し演奏するには、その曲だけをプログラムし(次のページ) **くり返し/FMモード** ボタンを押します。
- 解除するには、**くり返し/FMモード** ボタンをもう一度押し、 表示を消します。

聞きたい曲から聞く

本体

▶▶/▶▶▶ または ◀◀/◀◀◀ ボタンで、希望の曲番を選び、**演奏/一時停止 (▶/||)** ボタンを押す

リモコン

数字ボタンで希望の曲番を選び、約3秒以内に **▶/||** ボタンを押す

- 例： 曲番6を選ぶとき・・・ 0, 6
曲番12を選ぶとき・・・ 1, 2 の順に押す。

早送り、早戻し

演奏または一時停止中に、▶▶/▶▶▶ または ◀◀/◀◀◀ ボタンを押し続け、希望のところで指を離す

- リモコンで操作するときは、▶▶ または ◀◀ ボタンを押します。

曲の頭出し

▶▶/▶▶▶ または ◀◀/◀◀◀ ボタンを短くポンポンと押す

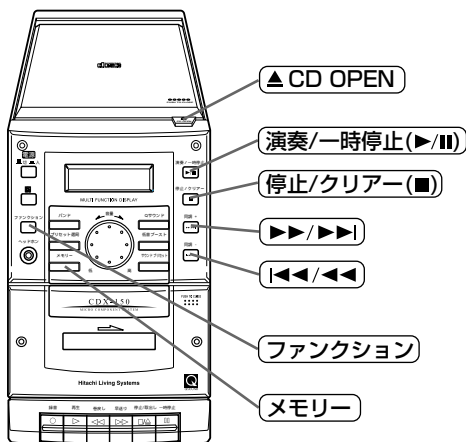


ちょっとこれを!

- CDに傷、指紋、ほこりがついていると、演奏できないことがあります。
- 演奏中、近くに置いたテレビに色ズレを生じたり、ラジオに雑音が入る場合は、本機と他の機器とを離してください。
- CD-Rディスクについて
本機では音楽を録音したCD-Rを再生することもできませんが、録音された環境や内容によっては再生できないことがあります。
未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクを傷つけることがあります。

演奏/一時停止 (▶/||) ボタンを押したときは、自動的にファンクションがCDに切り換わります。(録音中はできません)

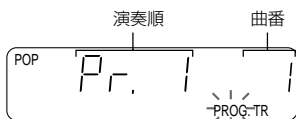
好みの曲を20ステップまで選んで演奏することができます。



プログラム例	演奏順(ステップ)	曲番
	1番目	曲番6
	2番目	曲番2

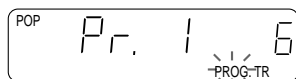
1 ファンクション ボタンを押して CD を選び、CDを入れる

2 メモリー ボタンを押す

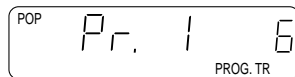


3 ▶▶/▶▶▶ ボタンをくり返し押して、曲番6を選ぶ

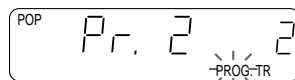
- リモコンの数字ボタンで曲番を選ぶこともできます。



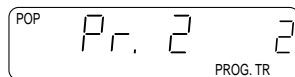
4 メモリー ボタンを押す



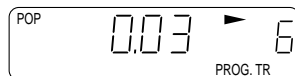
5 ◀◀/◀◀ ボタンを繰り返し押して、曲番2を選ぶ



6 メモリー ボタンを押す



7 演奏/一時停止 (▶/||) ボタンを押す
プログラム演奏が始まります。



- 21番目以上をプログラムしようとする時 FULL を表示して、20番目の表示に戻ります。

プログラム内容の確認

停止時に **メモリー** ボタンを押す

押すたびにプログラム順に内容が表示されます。

プログラムを変更するには

- 1 停止時に **メモリー** ボタンをくり返し押し、変更したい演奏順と曲番を表示させる
- 2 **▶▶/▶▶** または **◀◀/◀◀** ボタンで新しい曲番を指定する
- 3 **メモリー** ボタンを押す
 - プログラムした曲と曲の間に、新しい曲を追加することはできません。

プログラムの最後に曲を追加するには

- 1 停止時に **メモリー** ボタンをくり返し押し、「-- --」を表示させる
- 2 **▶▶/▶▶** または **◀◀/◀◀** ボタンで、追加したい曲番を指定する
- 3 **メモリー** ボタンを押す

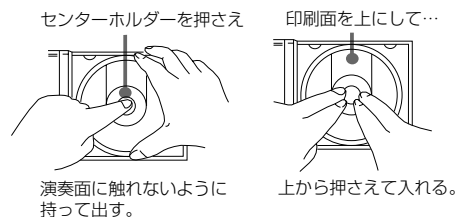
プログラムを取り消すには

停止時に**停止/クリア**(■) ボタンを押す

- ▲ **CD OPEN** ボタンを押したときも、プログラムは取り消されます。

CDの取扱いと保管

ケースからの出し入れは



- CDに紙やシールを貼らない。
- CDは曲げない。
- ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

CDの保管について

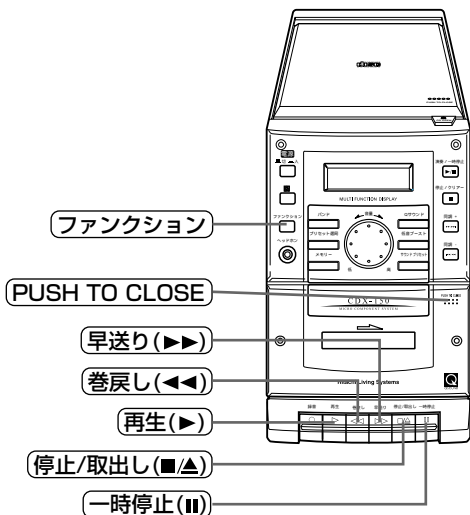
- 必ず専用ケースに入れて保管ください。
- 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。

CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布で中央から外側に向かってふいでください。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は使用しないでください。

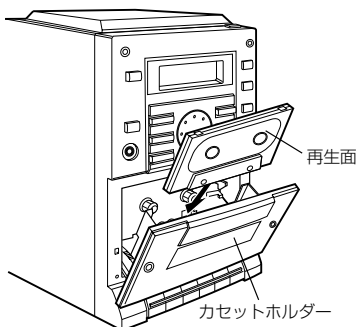
テープを聞く



1 ファンクション ボタンを押して TAPE を選ぶ



2 停止/取出し(■▲)ボタンを押して、カセットホルダーを開け、テープを入れる



3 カセットホルダーを閉める

カセットホルダーの PUSH TO CLOSE 部を押してください。

4 再生(▶) ボタンを押す

再生が始まります。

止めるときは 停止/取出し(■▲)ボタンを押す

- テープを取り出すときは、停止/取出し(■▲)ボタンをもう一度押します。



ちょっとこれを!

再生・録音・早送り・巻戻し中にテープが全部巻き取られると、自動的にボタンが復帰して停止します。

一時停止

再生または録音中に 一時停止(⏸) ボタンを押す

- もう一度押すと再び再生または録音が始まります。

早送り、巻戻し

停止時に 早送り(▶▶)または 巻戻し(◀◀) ボタンを押す

- 希望のところにきたら、停止/取出し(■▲) ボタンを押します。

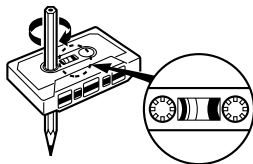
- 頭出し(キュー/レビュー)機能はありません。

カセットテープについて

ノーマルテープ(TYPE 1)をご使用ください。ハイポジションテープ(TYPE 2)やメタルテープ(TYPE 4)は使用しないでください。

- エンドレステープは使用できません。
- 100分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込むおそれがありますので、使用しないでください。

テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。



次のような場所には保管しないでください。

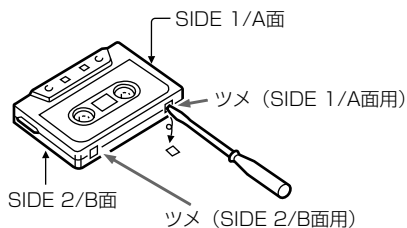
ほこりの多いところ。

磁気の発生するところ。

高温や湿度の多いところ。

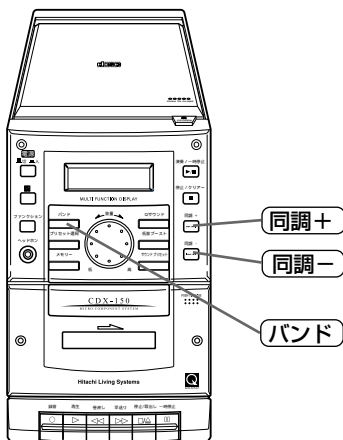
大切な録音を消さないために

カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。



誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさいでください。

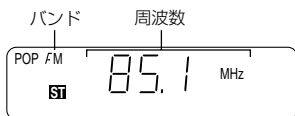
ラジオを聞く



1 バンド ボタンを押して、バンドを選ぶ

- ボタンを押すと、前回聞いていた放送局を受信します。続けて希望のバンドを選びます。

FM ↔ AM



テレビの音声を聞く

本機の FM バンドでテレビの1~3チャンネルの音声を聞くことができます。

- 1 チャンネル 1ch (95.75MHz)
- 2 チャンネル 2ch (101.75MHz)
- 3 チャンネル 3ch (107.75MHz)
- ステレオ、音声多重にはなりません。
- 本機のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

2 同調+または同調- ボタンを押して、希望の放送を受信する

マニュアル(手動)選局

ボタンを短くポンポンとくり返し押します。

FM: 0.1MHzステップで変わります。

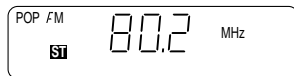
(76.0 ~ 108.0MHz)

AM: 9kHzステップで変わります。

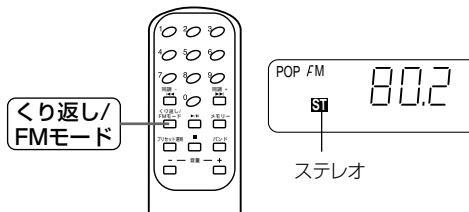
(522 ~ 1629kHz)

オート(自動)選局

ボタンを押し、周波数が変わり始めたら指を離します。放送を受信すると自動停止します。(電波の弱い放送局では止まらないことがあります。)

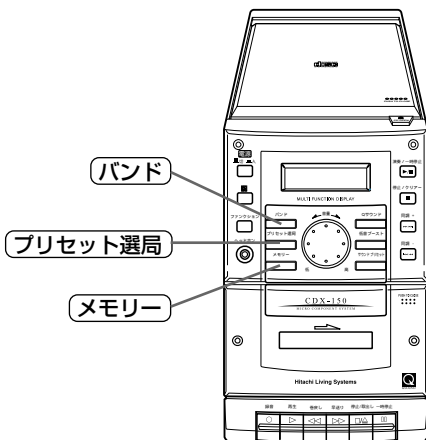


FMステレオ放送の受信について



リモコンのくり返し/FMモードボタンを押すたびに、ステレオとモノラルモードが交互に変わります。ステレオモード時にステレオ放送を受信すると、自動的に ST を表示しステレオになります。

- 受信状態が悪いときは、ST が表示されることがあります。この場合は、モノラルモード (MONO 表示) にすると、ステレオになりませんが、聞きやすくなります。
- AMステレオ放送には対応していません。



ちょっとこれを！

- 新しく放送局をプリセットすると、前の内容は消えます。
- プリセットの内容は電源を切っても残ります。停電などでプリセットの内容が消えた場合は、プリセットし直してください。

プリセットした放送局を聞く

- 1 **バンド** ボタンを押してバンドを選ぶ
- 2 **プリセット選局** ボタンを押して、希望のプリセット番号を選ぶ

マニュアル(手動)プリセット選局

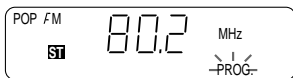
ボタンを短くポンポンとくり返し押します。

- リモコンの数字ボタンでプリセット番号を選ぶこともできます。

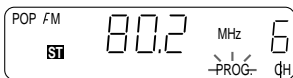
希望局をプリセットする

FMは20局、AMは12局までプリセットできます。

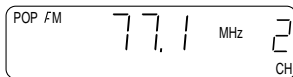
- 1 放送を受信する
- 2 **メモリー** ボタンを押す



- 3 **PROG.** が点滅中に、**プリセット選局** ボタンを押してプリセット番号を選ぶ

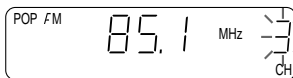


プリセット番号



オート(自動)プリセット選局

ボタンを押し、プリセット番号が変わり始めたら指を離します。プリセットされた放送局を順に5秒ずつ受信します。



希望の放送局にきたとき、**プリセット選局** ボタンを押します。

- リモコンの数字ボタンでプリセット番号を選ぶことができます。

番号6のとき… 0.6

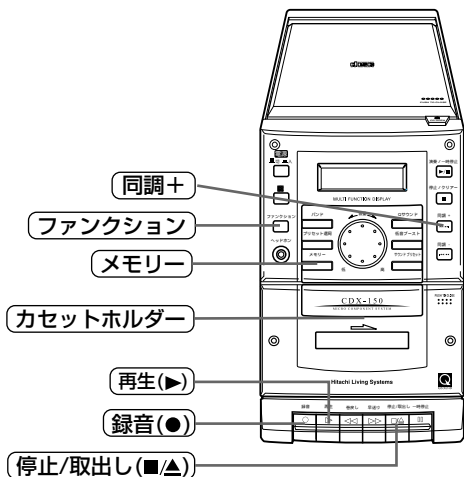
番号12のとき… 1.2 の順に押す。

この場合、次の4の操作は不要です。

- 4 **PROG.** が点滅中に、**メモリー** ボタンを押す



録音する



1 停止/取出し(■/▲)ボタンを押して、カセットホルダーを開け、テープを入れる

- 録音する面を手前にして入れます。

2 カセットホルダーを閉める

- 録音を始めるテープ位置で停止させておきます。

3 録音するファンクション(音源)を選ぶ

CDを録音するとき(CDシンクロ録音):

ファンクションを CD にして、CDを入れる。

- 希望の曲から録音するときは、曲番を選んでおきます。
- 希望の曲だけを選んで録音するときは、プログラムをしておきます。

ラジオを録音するとき:

放送を受信する。

4 録音(●) ボタンを押す

再生(▶) ボタンも同時にさがり、録音が始まります。

- CDシンクロ録音のときは、CDの演奏と録音が同時に始まります。
- CDの演奏中に録音(●) ボタンを押すと、演奏中の曲の頭に戻り録音を始めることができます。
- CDの一時停止中に録音(●) ボタンを押すと、曲の途中から録音を始めることができます。

止めるときは停止/取出し(■/▲)ボタンを押す

CD シンクロ録音のときは

- 停止/取出し(■/▲)ボタンを押すとCD演奏も同時に止まります。
- テープが終端になると、CD演奏と録音が同時に止まります。

録音中にビート音ができるときは

ラジオを録音中、ビート音(「ピー」という音)ができることがあります。その場合には、メモリーボタンを押しながら同調+ボタンを押してビート音が小さくなる方を選んでください。

お手入れ

テープヘッド部の清掃

テープを再生または録音すると…

- 音が悪い
- きれいに録音できない
- 前の音が残っている
- テープが巻きつく

などの症状がでた場合、その多くはヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキット(またはクリーニングテープ)をお買い求めのうえ、ヘッド部分を清掃してください。清掃はできるだけ早い目(約10時間程度使用ごと)におこなってください。



停止/取出し(■▲) ボタンを押してカセットホルダーを開け、図に示す□部分をふいてください。

- 長い間使っていると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。このようなときは、市販の消磁器でヘッドを消磁してください。

本体のお手入れ

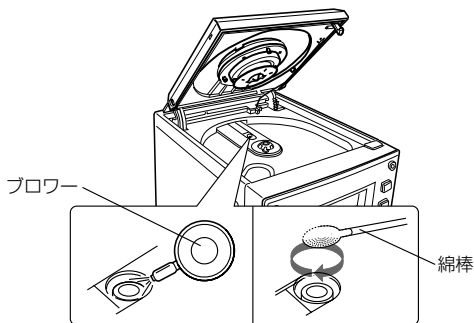
柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水ですすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

ピックアップ(レンズ)の清掃

ディスク装着部のレンズが汚れますと、音とびが起きたり、演奏ができなくなったりします。

ほこりなどは、市販のプロワーでレンズを2、3回吹き、先のブラシでほこりをはき出します。指紋などレンズについた汚れは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけてレンズの中心から外に向かってふいてください。



露つき(結露)のご注意

周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露(水滴)が発生することがあります。この状態では正常にCDを演奏できないことがあります。このような場合、CDを取り出し、使用される場所で約1時間放置した後、ご使用を開始してください。

故障かな?…と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

故障？	原因	処置
音がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがはずれている ● スピーカーコードがはずれている ● ボリュームが下がっている ● ヘッドホンが差し込まれている 	<ul style="list-style-type: none"> ● プラグを確実に差し込む ● 確実に差し込む ● 音量ダイヤルを調節する ● ヘッドホンをはずす
CD プレーヤー部		
演奏がはじまらない	<ul style="list-style-type: none"> ● CDが裏返しになっている ● CDが汚れている 	<ul style="list-style-type: none"> ● レーベル面を上にして入れる ● 清掃する
音がとぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● CDに大きな傷やソリがある ● 振動する場所に設置している 	<ul style="list-style-type: none"> ● CDをとりかえる ● 振動のない場所に設置する
テープレコーダー部		
カセットが入らない カセットホルダーが開まらない	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットの向きが上下逆さまになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● テープの見えている方を下にして入れる
テープが走行しない	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープの不良 	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープをとりかえる
録音できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ツメの折れたカセットを装着している 	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープをとりかえる
音がとぎれる、音程が狂う 消去が不完全	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッド部が汚れている ● ハイポジションやメタルテープを使っている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃する ● ノーマルテープを使用する
ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源雑音の影響を受けている ● モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを差し替える ● 本機を雑音源から離す ● テレビを消す ● アンテナを調節する
その他		
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池が消耗している ● リモコンと本体の間にしゃへい物がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池を交換する ● リモコンで操作する位置をかえる

お願い

操作を受けつけないときは電源コードをコンセントから抜き、30秒以上待ってから再び差し込んでください。長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

仕様

CD プレーヤー部		共通部	
ワウ・フラッター	測定限界以下	実用最大出力	4W+4W(JEITA/AC, 4Ω)
サンプリング周波数	44.1kHz	出力端子	SPEAKERS 端子 4Ω
復号化	16 ビット直線		ヘッドホン端子
エラー訂正方式	CIRC (クロスインターリーブリードソノモンコード)	電源	適合インピーダンス 8~32Ω
ピックアップ	光学式 3 ビーム半導体レーザー (波長 790nm)	消費電力	AC100V, 50/60Hz
テープレコーダー部		外形寸法	21W
トラック方式	4トラック 2チャンネルステレオ	質量	150(幅)×240(高さ)×212(奥行)mm
録音方式	交流バイアス	付属品	約2.3kg
消去方式	マグネット消去		AM ループアンテナ、リモコン 各1
早送り・巻戻し時間	約110秒 (C-60)	スピーカーシステム部	
周波数範囲	80~15,000Hz	形式	フルレンジバスレフ型
ラジオ部		ユニット	10cm コーン型
受信周波数	AM: 522~1,629kHz FM: 76~108MHz TV: 1~3ch	最大許容入力	8W(ピーク時)
		公称インピーダンス	4Ω
		外形寸法(1本)	150(幅)×230(高さ)×190(奥行)mm
		質量(1本)	約1.2kg

●仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店がご相談窓口(裏表紙)にお問合わせください。

①保証書 (本体同梱)	保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。 「保証期間 お買い上げ日から1年間です。」
②修理を依頼される時	この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな?…と思ったら」(P21)の点検をしていただき、それでも故障と思われる場合には運転を停止し、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店にご相談ください。
保証期間中	保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、保証書をご用意のうえ、お買い上げの販売店にご連絡ください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、ご相談窓口(裏表紙)にご連絡ください。
保証期間経過後	お買い上げの販売店にご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。販売店にご依頼にならない場合には、ご相談窓口(裏表紙)にご連絡ください。
③補修用性能部品の保有期間	テープレコーダーの補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後6年です。 この期間は経済産業省の指導によるものです。

本機やカセットテープなどを使用中、万一これらの不具合により録音や再生されなかった場合、録音内容の補償や、再生されなかったことによる損失の補償、または本機が使えなかったことによる付随的損害の補償については、ご容赦ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は

TEL ☎0120-3121-68

FAX ☎0120-3121-87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は

TEL ☎0120-8802-28

FAX 03-3260-9739

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当する
センターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5 (日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18 (博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を!



このような症状は
ありませんか

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、
電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売
店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理
に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様メモ

お買上げ 販売店名	電話
お買上げ 年月日	年 月 日
取付け 工事会社	電話
品番	
製造番号	

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 (アクロポリス東京)
TEL. (03) 3260-9611 FAX. (03) 3260-9739